

授業改善推進プラン（教科 技術）

作成者 関口 礼之

課 題		指 導 の 手 だ て	
全学年の共通課題 ○生活に役立つ知識や技能を身につけさせ創造性を高めるために。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識と技術の徹底ともに、創造性が発揮されるようにする。 ・ 融合教材（木材や金属、プラスチック など様々な材料を使用した教材を活用し、多くの知識を身につけさせるとともに、身近な情報や教材を活用する。 ・ 新学習指導要領に対応した授業を行う。 	
学年毎の課題	学 年	実 態	指 導 の 手 だ て
	1 年	積極的に授業を行っている。 楽しみながら授業を受けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用目的や使用条件を理解し、作品の構想が行えるように、ワークシートや教科書などから伝える。 ・ 基礎的な工具や機械の取り扱いを身につけるために適切にアドバイスをする。
	2 年	栽培の授業では、朝の水やりや観察をし、しっかり行っている。授業中の積極的な発言に期待している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書などの例から身の回りの製品を示唆する。 ・ 材料に応じた仕上げ方法について整理させる。 ・ 機器の基本的な仕組みを知り、安全面や用途、各部の働きと関係を理解させる。 ・ 栽培の授業を通して、作物を育てる基礎知識を体験しながら、習得する。 ・ 日々の作物の管理を指導する。
	3 年	情報モラルに関する授業やPCを使った授業では積極的に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の信頼性やコンピューターウイルスの危険性について身近な資料や Web ページを活用し、指導する。 ・ 日常生活で起きているコンピュータ被害を事細かくチェックし、生徒に伝える。 ・ コンピュータやコンピュータソフトを、実践を通して学ばせる。

授業改善推進プラン（教科 家庭科）

作成者 渡邊 あづさ

課 題		指 導 の 手 だ て	
全学年の共通課題 ・生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得し、生活にいかせる能力を育てること		・生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得し、家庭の機能について理解を深めさせたい。そのために、生活に密着した実践的・体験的な学習活動の充実を図りたい。	
学年毎の課題	学 年	実 態	指 導 の 手 だ て
	1 年	意欲的であり、何事にも挑戦することができる。	・中学生の栄養について関心を持たせ、食事の果たす役割について考えさせたい。また、それらの技能の習得と同時に基礎的な知識も定着させたいので、実生活に即した題材を設定していく。
	2 年	苦手意識があるものは積極的に取り組むことができない。コツをつかめば主体的に活動することができる。	・技能は十分に備えている。完成度の高い作品が仕上がるので自信を持たせるような授業を設定していく。 ・受け身の授業態度から主体的な活動への転換を目指して、より実践的な授業を設定していく。
	3 年	落ち着いた姿勢で授業に取り組むことができる。新しいことに挑戦させながら新たな力を発揮することを期待している。	・昨年度の「布の絵本」製作では個性的で素晴らしい作品を完成することができた。本年度は、保育園実習に向けて、絵本を持参し交流を深めながら中学生オリジナルの演劇を発表させたい。新たな取り組みであるが、園児のことを考えた工夫した内容になるよう練習を重ねる。 ・衣服製作（上着）をとおして、2年間積み重ねてきた技能の集大成としたい。実生活でも着用することができるような作品に仕上がるよう、一つ一つコツをつかませながら進めていく。

評価する観点	具体的な評価内容	評価の数値化	総合評価	評 定
I 生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。 関心・意欲・態度	(技術) ①授業への参加態度・提出物 A 積極的に参加している。15～11 積極的に参加し、提出物の状況も良好 B 普通に参加している 10～7 提出物の状況もほぼ満足できる。 C あまりよくない 6～0 提出物の状況など努力が必要。	①+②の合計を出す… I	Iの合計点の、総得点30点の中での達成率を求める。 達成率 A=75%以上 B=75%未満～50%以上 C=50%未満	4つの観点の評価から評定を決定する。 合計 100～85% ↓ 5 合計 84～75% ↓
	(家庭) ②授業への参加態度・提出物 A 積極的に参加している。15～11 積極的に参加し、提出物の状況も良好 B 普通に参加している 10～7 提出物の状況もほぼ満足できる。 C あまりよくない 6～0 提出物の状況など努力が必要。			
II 生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりにくふうし創造する能力	(技術) ①ワークシートの内容・活動状況 A たいへん良い⇒25～18 作品・作業に対して創意工夫が十分に生かされている。 B ほぼ満足がいく⇒17～13 創意工夫が不十分。 C 努力が必要⇒12～0 作品・作業に対して創意工夫が生かされていない。	①+②の合計を出す… II	IIの合計点の、総得点50点の中での達成率を求める。 達成率 A=75%以上 B=75%未満～50%以上 C=50%未満	4 合計 74～50% ↓ 3 合計 49～20%
	(家庭) ②ワークシート・作品 A たいへん良い⇒25～18 作品・ワークシートに対して創意工夫が十分に生かされている。 B ほぼ満足がいく⇒17～13 創意工夫が不十分。 C 努力が必要⇒12～0 作品・ワークシートに対して創意工夫が生かされていない。			
III 生活に必要な基礎的な技術を身につけている。 生活の技能	(技術) ①作品や技能、活動状況 35点満点 (家庭) ②作品・実技テスト・活動状況 35点満点	①+②の合計を出す… III	IIIの合計点の、総得点70点の中での達成率を求める。 達成率 A=75%以上 B=75%未満～50%以上 C=50%未満	↓ 2 合計 20%未満 ↓
IV 生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。 知識・理解	(技術) ①期末考査 50点満点 (家庭) ②期末考査 50点満点	①+②÷2の合計を出す… IV	IVの合計点の、総得点50点の中での達成率を求める。 達成率 A=75%以上 B=75%未満～50%以上 C=50%未満	1